

令和 6 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 2 1 日

江別市立江別第二中学校

1 本年度の重点目標

夢や目標を持ち、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	①地域、保護者の信頼を得る開かれた学校経営の推進 □自己評価 A54% B42% C4% D0% □保護者評価A47% B46% C7% D1%	A	・学校だより、HP 等を活用し、教育活動をよりタイムリーに発信する。 ・積極的な地域人材・外部人材の活用を進め質の高い教育を目指す。	A	A
	②経営方針の具現化に向け、協働的・組織的な学校運営の推進 □自己評価 A46% B54% C0% D0%	A	・子どもたちの資質・能力に視点を当て、目指す方向性を共有した学校運営を推進する。	A	A
教育課程・学習指導	③確かな学力の定着を図る学習指導、授業改善の推進 □自己評価 A8% B79% C13% D0% □保護者評価A12% B54% C30% D5%	B	・計画的な学習、家庭学習の習慣化を進める。 ・地域人材（学習サポート教員）を活用し、きめ細やかな学習指導により確かな学力の定着を目指す。	A	A
	④豊かな心や自主性・社会性を育む道徳、特別活動及び総合学習の推進 □自己評価 A29% B71% C0% D0% □生徒評価 A72% B25% C3% D0% □保護者評価A35% B53% C11% D2%	A	・学校のすべての教育活動の中で、自己決定場面を大切にし、考え判断する力を育む。 ・特別活動、総合学習の目的や目指す子どもたちの姿を明確にした教育課程の編成を進める。	B	A
	⑤学力向上につなげる教職員の資質を高める研修活動の推進 □自己評価 A21% B71% C8% D0%	A	・校内研修や校外研修を通して、子どもたちの深い学びにつながる授業改善を進める。	A	A

	⑥個に応じた効果的な支援を促し、自己実現に導く特別支援教育の充実 □自己評価 A33% B63% C4% D0%	A	・支援員と連携し、個に応じた多様な支援の在り方を充実させていく。	A	A
生徒指導	⑦理論に基づく自立と自己実現につながる生徒指導、進路指導の推進 □自己評価 A21% B75% C4% D0% □生徒評価 A49% B45% C6% D1%	A	・自ら考え決めさせる場面を大切にし、判断力、行動力を伸ばしていく。 ・良さを認め、自己肯定感を高めることで、夢や目標を持ち、自ら歩んでいける生徒の育成を進める。	A	A
	⑧学級での存在感、充実感を味わい自己有用感を感じる集団づくりの実施 □自己評価 A17% B71% C13% D0% □生徒評価 A45% B46% C8% D2%	B	・役割の自覚、責任、協力など、集団づくりに向けた意図的な仕掛けを工夫し、自己肯定感を高める。	A	A
	⑨リーダーを核とした主体性を育む特別活動の実践 □自己評価 A29% B67% C4% D0%	A	・集団を通して個を鍛え、自主的、実践的な態度を育む。	B	A
	⑩夢や希望、自信と誇りが広がる学校づくり、キャリア教育の充実 □自己評価 A13% B75% C13% D0% □生徒評価 A33% B26% C24% D18% □保護者評価A15% B33% C41% D10%	B	・体験的な活動や外部人材を活用しながら、豊かな体験を通してキャリア教育の充実を進める。 ・キャリアノートを活用した振り返りによる自己理解を推進する。	A	A
	⑪いじめ防止基本方針に基づく、いじめ、不登校の未然防止及び早期発見への組織的な対応 □自己評価 A50% B50% C0% D0% □生徒評価 A92% B7% C1% D1% □保護者評価A24% B62% C11% D3%	A	・係を中心とした組織的な対応を徹底し、早期発見、迅速な対応で未然防止に努める。 ・生徒会を軸に、いじめを考える機会を継続する。	A	A
小中一貫教育	⑫小中一貫教育の目的を理解した活動の充実 □自己評価 A46% B54% C0% D0% □保護者評価A50% B43% C4% D2%	A	・現在行っている活動をよりブラッシュアップしながら、めざす15歳の姿を実現する。 ・小中一貫教育の目的を職員間で共有するとともに、活動を積極的に発信していく。	A	A

文化・体育活動	⑬生徒の情操を高めるための文化活動の充実・改善 □自己評価 A38% B58% C4% D0%	A	・今年度の取り組みの成果を確認し、よりよい文化活動を探っていく。	A	A
	⑭心身の逞しさを培う体育的活動・保健指導の充実 □自己評価 A50% B50% C0% D0%	A	・外部人材を活用した体験的な活動を充実させる。 ・客観的データから課題を明確にし、学校全体で取り組む。	A	A
安全指導	⑮危機管理意識を高める安全指導の充実と危機管理能力の向上 □自己評価 A25% B71% C4% D0%	A	・職員の危機意識を高め、日常から安全指導を進める。 ・情報の共有と発信をタイムリーに行う。	A	A
その他	⑯校内の校務分掌、校外の業務分担の適切さ、協働の推進 □自己評価 A46% B29% C25% D0%	B	・組織的協働体制づくりを進めるとともに、業務内容や業務分担を工夫する。	A	A
	⑰教室や廊下などの教育環境整備 □自己評価 A33% B63% C4% D0%	B	・学校のみでできることを進めながら予算要望等も行い、より一層の環境整備に努める。	A	A
	⑱働き方改革の推進と経営参画意識の向上 □自己評価 A38% B58% C4% D0%	B	・「働きがい」を大切にしながら、業務改善やDXを進める。	A	A
<p><b>【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目の設定は適切。(第二小学校並みの項目数に減らしてもよい)</li> <li>・自己評価「B」も「A」で良いものもある。改善策も練られており適切。</li> </ul>					

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない